

3月23日、総長先生による授業見学を受けて学んだこと。

社会福祉学部 講師
経済学修士 西山祐司

公務員試験対策講座の授業において、2限、3限、4限で実施された論文試験対策講座について、見学者としての立場での感想を述べたいと思います。

今回の対策講座においては、3コマという限られた時間の中、2つのテーマを扱って、講義を行われましたが、以前中島総長先生がご指導されていたように、教員は文章上の構造を理解して、必要な箇所のみ下線を引かせ、必要な文章のみを暗記させることにより、学生がポイントを絞った学習ができるようになる、という内容に従って、パワーポイントを使って必要な箇所にアンダーラインを引きながら講義を行うことで、文章を作成する作業が非常にスムーズになり、ポイントが明確になることで、学生も要領よく文章を書くことができるようになったように感じました。

また、学生に数分間、時間を与えて文章を書かせ、それを学生に発表させながら講義をすることで、学生に対して、いい意味で緊張感をもたらし、さらに中島総長先生からも随時適切なコメントをいただきながら、作成する文章を磨き上げていく流れはとても素晴らしい講義内容であり、学生が非常に理解しながら授業を受けている姿が見受けられました。

さらに、学生一人一人に対して常に問いかけを行い、テキストを読ませたり、文章作成にける注意点を説明したり、といった流れで非常にテンポよくご指導されていらっしゃるのがとても印象的でした。

今回実施された論文試験は、公務員試験の中で2次試験に該当する科目になりますが、多くの公務員試験では1次試験と同じ日程で実施されます。ただし、1次試験を突破しない限り採点すらされない試験になりますので、せっかく書いた文章が無駄にならないためには1次試験対策も非常に重要になります。

私が担当するのは主に1次試験対策になりますため、今回宮園先生が実施され、非常に大きな成果につながった論文につなげられるよう、指導を充実させていきたいと思っています。